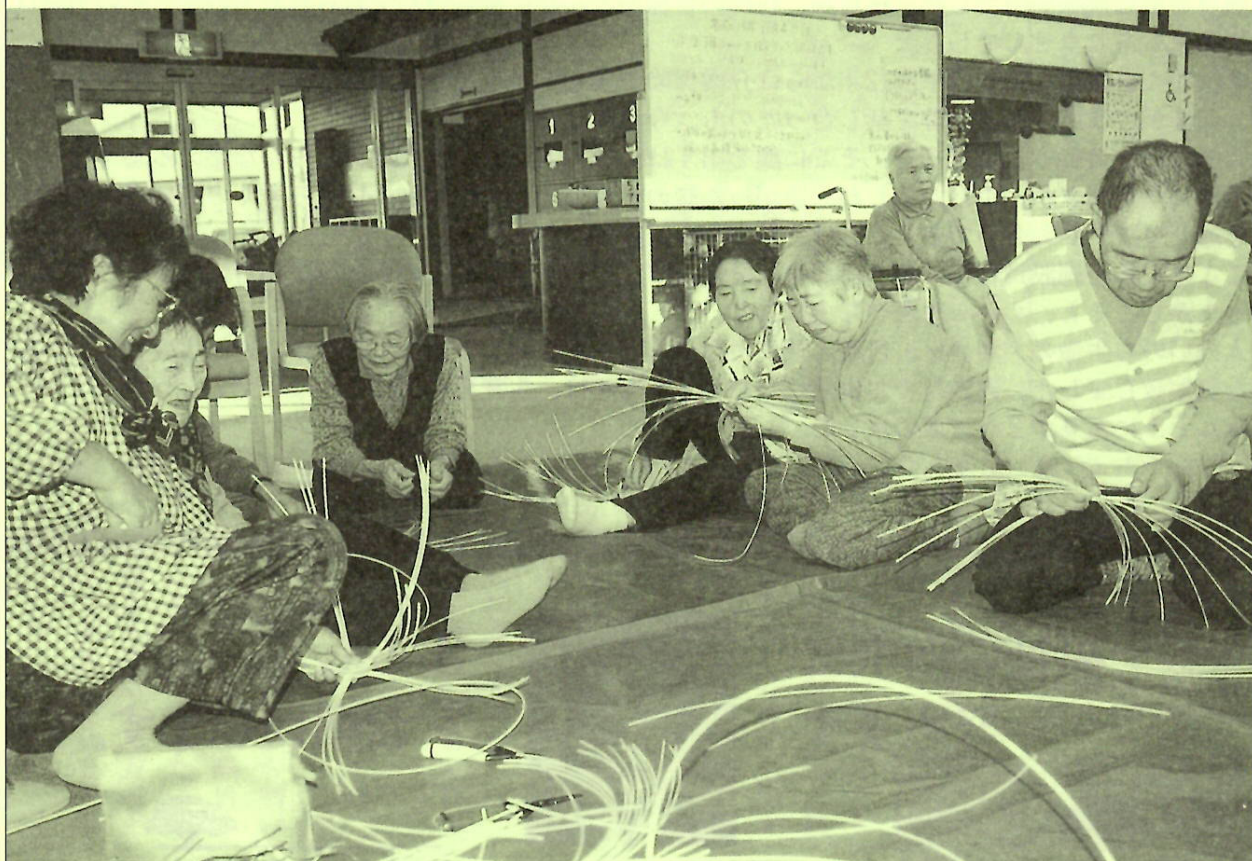


やすらぎ

特養住民
佐々木アキノ筆

第22号

発行 平成15年12月25日
編集 社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会



「なかなかうまくできねもんだな」

文化祭作品展示にむけ、若畑創作館の方々といっしょにつる細工を作成する特養住民とデイ利用者

- ◆特別養護老人ホームぶなの園 ◆デイサービスセンターぶなの園
- ◆沢内村在宅介護支援センター ◆ホームヘルプステーションぶなの園
- ◆西和賀介護相談室

沢内村大字太田第2地割135番地 ☎0197-85-2322

- ◆沢内村高齢者生活福祉センターかたくりの園

沢内村大字大野第17地割140番地1 ☎0197-85-3388



温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食事提供をめざしています。

その結果、従来通り七時半から盛り付けの順番を決め、盛り

付けた順序に配膳したり、自立している方には、自らお膳を運んでいただくよう呼びかけ

盛り付けてあるお膳を、時間に一斉に配膳を行なっていたが、配膳の終わりの方では冷めてしま

らと答えられた方が十二名・八時からと答えられた方が十二名・八時半

いつでも温かい食事を提供するために 特養での取り組み

そういふ面では、どちらかと言えば後回しにされやすい介助を必要とされている方々も温かい食事を食べることが出来たのではないかと思われます。



「おいしかったわよ」食器の片づけを手伝ってくださるミトリさん

〔9月入居〕



貝沢 米倉アサさん (78歳)

新しい住民 ご紹介

平成十五年九月
十五年十一月

(年齢は十一月末現在)
よろしく願いいたします



〈特養介護 主任 石川進〉

6年間 ご指導



ありがとう ございました

この度、10月末をもちましてぶなの園施設長、かたくりの園副施設長を退任させていただきました。平成9年11月、高橋一雄前村長の時、沢内村に10億円余りのぶなの園が設立されました。特別養護老人ホームを始め、デイサービス等高齢者の総合施設として、翌年四月より全ての事業が開始されました。

職員や私は無我夢中でした。私自身、村民の皆様がどんなに待ち望んでおられたものか、その当時は考

える余裕もありませんでした。それから21世紀となり、平成12年からは介護保険制度も始まりました。猛吹雪の夜、沢内村の高齢者施設、保健がどうあるべきかを話し合ったのも、今思えばなつかしい限りです。

雪解けの水のどつと流れる音、そこに顔を出すばっけ、遅い春と秋の紅葉、みんな燃えるようでした。この地に汗を流され、手と顔のしわ、曲がった腰のお姿にその苦勞がしのばれる多くの高齢者方々とは仕事を通してですがお会いできたことは、私にとって幸せの一言です。

ここまで私が施設長としてどうにか責任を果たすことが出来たのも、村民の皆様の多くの支援があったからこそと、心から感謝申し上げます。

人のいのち生命の大切さと、自然と共に生きることの素晴らしさ、たくましさ、逆に大変さも分かるような気が致しました。沢内村でお世話になりました七年は、生涯忘れることがないでしょう。

ほんとうにありがとうございました。

前施設長 上野 米子

福祉の向上に 努めます



よろしく お願いします。

このたび、平成15年11月1日をもって、前施設長 上野米子氏の後任として施設長に任命されるとともに、社会福祉法人やすらぎ会理事に選任され就任いたしました。

介護保険時代を迎え高齢者福祉が益々重要となります今日、微力ではありますが介護保険並びに社会福祉事業の発展に一層努力し重責を果たす所存であります。

人は避けようのない病気や災難によって、しばしば脅かされます。人はそれを不運・不幸と呼びますが、本当の不幸は病気、災難、それ自体を言うのではなく、病気、災難を契機に、一切の望みをもてなくなつてから始まります。どんな境遇にあつても“いきいき”と生きてゆきたいものです。

役職員一体となつて、利用者の立場に立った福祉制度の構築、つまり利用者の満足につながる福祉サービスの質的向上に努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

施設長 高橋 一雄

社会福祉法人やすらぎ会役員名簿

任期 (H15.12.3~H17.12.2)

	氏名	住所
理事長	深澤 貞夫	沢内村太田3-2-1
理事長職務代理	高橋 善一	沢内村猿橋33-27-4
理事	泉川 助五郎	沢内村大野5-1
	児玉 正彦	沢内村川舟10-26
	佐々木 剛	沢内村前郷4-48-3
	高橋 一雄	沢内村猿橋27-95
	高橋 勝	沢内村太田2-117-4
	山鼻 眞一	沢内村川舟26-41-1
監事	高橋 幸一	沢内村猿橋28-70-8
	照井 重三	沢内村太田10-117-6
	三浦 浩信	沢内村大野17-54

(50音順)

社会福祉法人やすらぎ会評議員名簿

任期 (H15.11.26~H17.11.25)

	氏名	住所
	大島 和久	沢内村大野9-32-1
	加藤 茂	沢内村新町10-19
	久保 喜代理	沢内村猿橋6-54-1
	黒淵 二三子	沢内村大野20-56
	小森 一彦	沢内村川舟7-38-6
	坂巻 潤子	沢内村新町16-42
	佐々木 シヲ子	沢内村前郷1-35-1
	高橋 昭男	沢内村猿橋33-6-2
	高橋 松榮	沢内村川舟39-90
	高橋 宏	沢内村猿橋25-29
	照井 端	沢内村太田8-53
	新田 恵美子	沢内村猿橋23-66-6
	真壁 信男	湯田町上野々39-165-5
	盛島 榮治	沢内村新町9-44
	吉田 信夫	沢内村川舟3-104-3
	和泉 隆	沢内村太田18-94
	渡辺 哲哉	沢内村猿橋21-20-1

(50音順)

役員が改選になりました。任期満了に伴うもので、評議員と理事・監事が新たに選任されました。去る十一月二二日の理事会において十七名の評議員が、そして十一月二八日の評議員会において理事八名・監事三名(十二月十九日監事一名)が選任されました。

社会福祉法人やすらぎ会 新役員ご紹介



改選前までは、評議員十三名、理事六名、監事三名でしたが、評議員十三名の中に理事六名が兼務しておりましたので、評議員と理事の兼務をさげ、実質的な審議ができる機関になるよう努めることが適切であることから、定款の一部を改正して理事、評議員の定数を増やしたところでありました。

尚 評議員の定数は、事業法の規定により理事の定数の二倍以下であってはならず、おおむね四〇名以内にとどめることと定められております。

高齢者を地域で支え、地域で守るというコミュニティ・ケアの原則を忠実に守り、特別養護老人ホーム等諸事業を経営しながら、地域との共生をはかってまいります。

より良いサービスをめざし改善に努めます

去る十月三日、ぶなの園、かたくりの園の両通所介護事業所(デイサービス)に關した北上地方振興局による実地指導を受けました。

指導の目的として、「介護給付等対象サービスの内容並びに介護給付費等に係る費用請求に關する指導を行い、介護給付等対象サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図る」(実際に提供したサービスに基づき請求をしているか、不正な請求はしていないか)です。

実地指導の視点は、①人員に關する事項。②設備に關する事項。③運営に關する事項④介護報酬に關する事項の主に四点についてです。指導いただきました内容について報告いたします。

デイサービスぶなの園

1、ケアプランがケアマネジャーより提出されてなく、サービスを提供している利用者があるため、ケアマネジャーより、ケアプランを提供していただいた後サービスを提供すること。

2、時間延長サービスについて、重要事項説明書(契約締結の際、内容等について説明した書類)に明記されていない方がいるので、追記しておくこと。(預かりサービス、一時間一〇〇円、以後三〇分ごとに一〇円)

3、利用料金について、請求の明細が分かるように請求書・領収書へ明記すること。

かたくりの園

1、ぶなデイ同様、利用料金について、家族及び利用者へ利用状況がわかるように請求書・領収書

へ明記すること。また、現金授受は防犯上の問題などがあるので、可能な限り振込みや口座引き落としにしたらどうか。

2、利用者の入院や介護度が変化した場合のケアプランや通所介護計画書の関連がわかりにくいので検討が必要。

今回の実地指導では人員に關する事項については勤務表を確認することのみであり、設備面についても施設内を視察するのみでした。しかし、介護請求及び利用者へのサービス提供については例年になく厳しい視点での指導となりました。今回の実地指導にていただいた指摘については早急に改善するとともに、内部だけではなく他のケアマネジャーとの連携についても今後いっそう協力していきたいと思っております。

前回の広報にて沢内村の皆さんと共に痴呆について考えていきますと報告いたしました。今回は痴呆の症状について簡単に説明します。

皆さんは痴呆という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか?「ぼけ、物忘れ、徘徊」などといった言葉ではないでしょうか。

年を取れば誰もが多少は「物忘れ」をします。この「物忘れ」が進行し判断ミスが起こり、毎日の生活にも支障をきたした状態を痴呆といえます。

自分の経験そのものを忘れてしまうという大きな記憶障害があり「物忘れ」とどまらず、自分が今いる場所やその時の時間が理解できなくなったり、何かを判断するための基礎となる情報が欠落していることから、判断ミスなどが起こるといふ認知障害へと進行していきまます。そして、このような自分自身の欠陥に気づかないという特徴があります。

「沢内から痴呆症をなくそう」

シリーズ第2回

りまます。脳梗塞や脳出血などの脳血管障害が原因で起こる脳血管性痴呆。脳の変形疾患が原因で起こるアルツハイマー型痴呆が代表的です。

①脳血管性痴呆：脳梗塞や脳出血などの脳血管障害の後遺症として痴呆が起こるものを呼びます。またMRIが広く普及したことにより脳血管障害の自覚症状がない人も加齢と共に脳の虚血性病変、微小の脳梗塞が見られることも明らかになってきました。脳血管性痴呆の出現は脳血管障害発作、いわゆる卒中発作によって悪化することが多く、発作を繰り返せば症状は進行します。

②アルツハイマー型痴呆：脳細胞が変形することにより発症する痴呆です。症状の進行と共に脳の全体的な萎縮がみられます。原因についてはまだ明らかではありません。初めのうちは記憶障害が少しずつ出現しますが、進行に伴い運動障害や失禁などの身体症状が顕著化、やがて寝たきりの状態になります。

へぶなデイ看護師 石川ミニ子



— 二日目のホーム喫茶も満員御礼 —
特製コーヒーのお味はいかがですか？

ぶなの園では第一回目の夏祭りで神楽を見ていただいております。今回で二回目となります。

ステージ発表に参加しての感想

高橋武弥さん
今年の文化祭もたくさんの方が集まり、ぶなの園の住民や家族など皆さん喜んでいらっしゃる様子でした。その中でも、坂本神楽団は初めて見ることができとても良かった。また、やよい会の子どもたちの踊りもうまかったし、展示されている作品も良くできていた。妻と共に文化祭を楽しむことができました。

特養家族の声

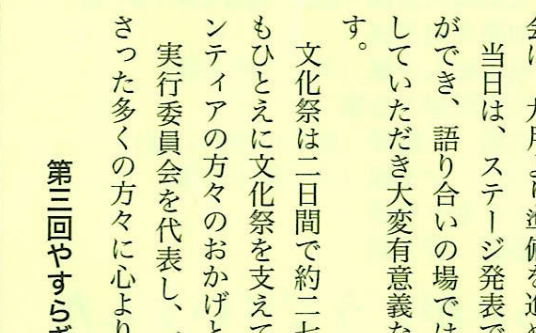
今年文化祭もたくさんの方が集まり、ぶなの園の住民や家族など皆さん喜んでいらっしゃる様子でした。その中でも、坂本神楽団は初めて見ることができとても良かった。また、やよい会の子どもたちの踊りもうまかったし、展示されている作品も良くできていた。妻と共に文化祭を楽しむことができました。



♪りんごかわいい～や～♪会場が一体となりました

坂本神楽団 代表 高橋秀一様

今回は屋内ということもあり、間近で見させていただいたため、こちらからもお年寄りの皆さんの表情がよく見えました。和やかな雰囲気の中で神楽を披露することができたと思います。時間の都合で、獅子舞の一演目だけしかお見せすることができませんでしたが、今後も機会があれば交流を深めていきたいと考えております。



第三回やすらぎ会文化祭実行委員長 佐々木 正勝

皆さんの支えにより大成功に終わり 心より感謝申し上げます

やすらぎ会文化祭に向け、職員と地域代表からなる実行委員会は、九月より準備を進めて参りました。当日は、ステージ発表で素晴らしい唄や踊りを堪能することができ、語り合いの場では、地域の方々から積極的なお話しをしていただき大変有意義な時間を過ごすことができたと思います。文化祭は二日間で約二七〇名ほどの来客がありました。これもひとえに文化祭を支えてくれた村民の皆様、また多くのボランティアの方々のおかげと感謝申し上げます。実行委員会を代表し、ご協力くださった方々、ご来場くださった多くの方々、心より感謝申し上げます。

地域住民方の感想

第一回目から参加させていたいただいておりますが、また一段とレベルアップし充実した文化祭だったと思います。担当職員が住民の反応を見ながらさりげなく気配り心配する様子を見て、普段の日々の心掛けから参み出ていることと、誇れる職員に成長したと実感

しました。
第二部の語り合いの場も、発表者が素直に語られる場作りも出来ていて訴えることが伝わって来ました。今回のキーワードは「家族全員が受け入れること」と「周囲から知ってもらおうこと」でした。痴呆防止に大きなヒントが得られました。有難うございました。合掌。
大荒沢 児玉正彦さん

ちえを出しあいこころ豊かな地域をめざす

第三回 やすらぎ会文化祭開催



第三回やすらぎ会文化祭が十二月六、七日の二日間にわたるぶなの園を会場に開催されました。一日目は特養住民や在宅サービスの利用者の皆さんが丹精込めて作成した作品の展示と、ステージ発表、痴呆についての話し合いの場、二日目は作品展示の他にホーム喫茶が行なわれました。

ステージ発表のオープニングは坂本神楽団による勇壮な舞、その後やよい会の子どもたちによる華麗な踊り、レディーズババーズによる太極拳の演舞、プロピアニストのニンファさんによる国境を越えた歌の披露など、発表者と会場者が一体となり溢れんばかりの歓声に包まれました。

そしてメインは参加者全員による歌の大合唱。曲目は「りんごの唄」「四季の歌」の二曲。当日は沢内中学校の生徒とコーラスグループプリシヤン、盛岡大の実習生のみなさんが応援に駆けつけてくださり、見事なハーモニーが生まれました。

午後は「痴呆症のある人とその家族を支えるには」というテーマで四名の沢内在住の方（久保良子氏・佐々木正勝氏・内記晶子氏・高橋吉夫氏）より体験談を含めお話を



いただきました。今回は専門家のまとまったお話の発表ではなく、地域の声に重点を置いたため、まとめるには多少不安はありました。しかし活発な意見が飛び交い、痴呆症についての理解が参加者より得ることができたことは何よりの成果だったと思います。今回の文化祭では一日目が約二〇〇名、二日目ホーム喫茶が約七〇名の合計二七〇名余りの来場者がありました。

特養住民の声



伝統の舞に会場が静まりました

柏崎フミさん
始めて文化祭を見ましたが、どの作品もすばらしく、皆でがんばって完成させたので本当に良かったと思う。やよい会の子供たちが一生懸命踊っていたので、すごく感動しました。太極拳の方も体が柔らかくびつくりしました。
米倉アサさん

「あまりにもすばらしい作品に購入を求める方がおりました」

ホーム喫茶のご案内

【開店日】1月18日(日)

2月15日(日)

3月21日(日)

【ご利用時間】14:00~16:30

【場所】ぶなの園
地域交流の場

お待ちしております！

編集後記

先日、あまりにも雪が降らないため、住民の方と「今年は夏がなかったから、まちがって雪も降ってこねんだ」と笑いながら話をしていました。

〈ところが次のあさ、起きてビックリ大雪です〉

あーやっぱり沢内にかぎって、まちがいなんてないんだな♪

〈やすらぎ会広報委員〉

丹波 直人 田中真起子 高橋 俊行
佐々木菜穂子 高橋 紅子 深沢 恵子

感謝申し上げます

平成15年9月~平成15年11月

【ご寄付】

刈田 秀雄様
吉田 清一様
藤原 三雄様
上野 米子様

【ご寄贈】

川舟小学校様
刈田 秀雄様
南川 ハル様
高橋 達子様
石井 和子様
赤十字血液センター様
近藤 光子様
北上地区看護協会様
刈田 ケイ子様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (洗濯物たたみ他)
- ・高橋 昭士様 (唄、踊り披露)
- ・高橋 和子様 (")
- ・太田婦人会様 (住民の健康を祝う集い他)
- ・加藤久美子様 (")
- ・泉沢婦人会様 (ホーム喫茶他)
- ・長瀬野婦人会様 (")
- ・高橋 正慶様 (植木の雪囲い他)
- ・石川 ツヤ様 (ツル細工指導)
- ・佐々木キワ様 (")
- ・藤原 若子様 (")

ありがとうございました

在宅での介護のお悩みは

在宅介護支援センター にご相談ください

《電話番号》

(0120)85-2319 (☎支援センター直通)

85-2322 (土・日・祝日、夜間対応)

お気軽にどうぞ!